

渋滞対策

令和7年3月19日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県 県土整備部

目次

1. 主要渋滞箇所に関する話題	2
2. その他	23

1. 主要渋滞箇所に関する話題

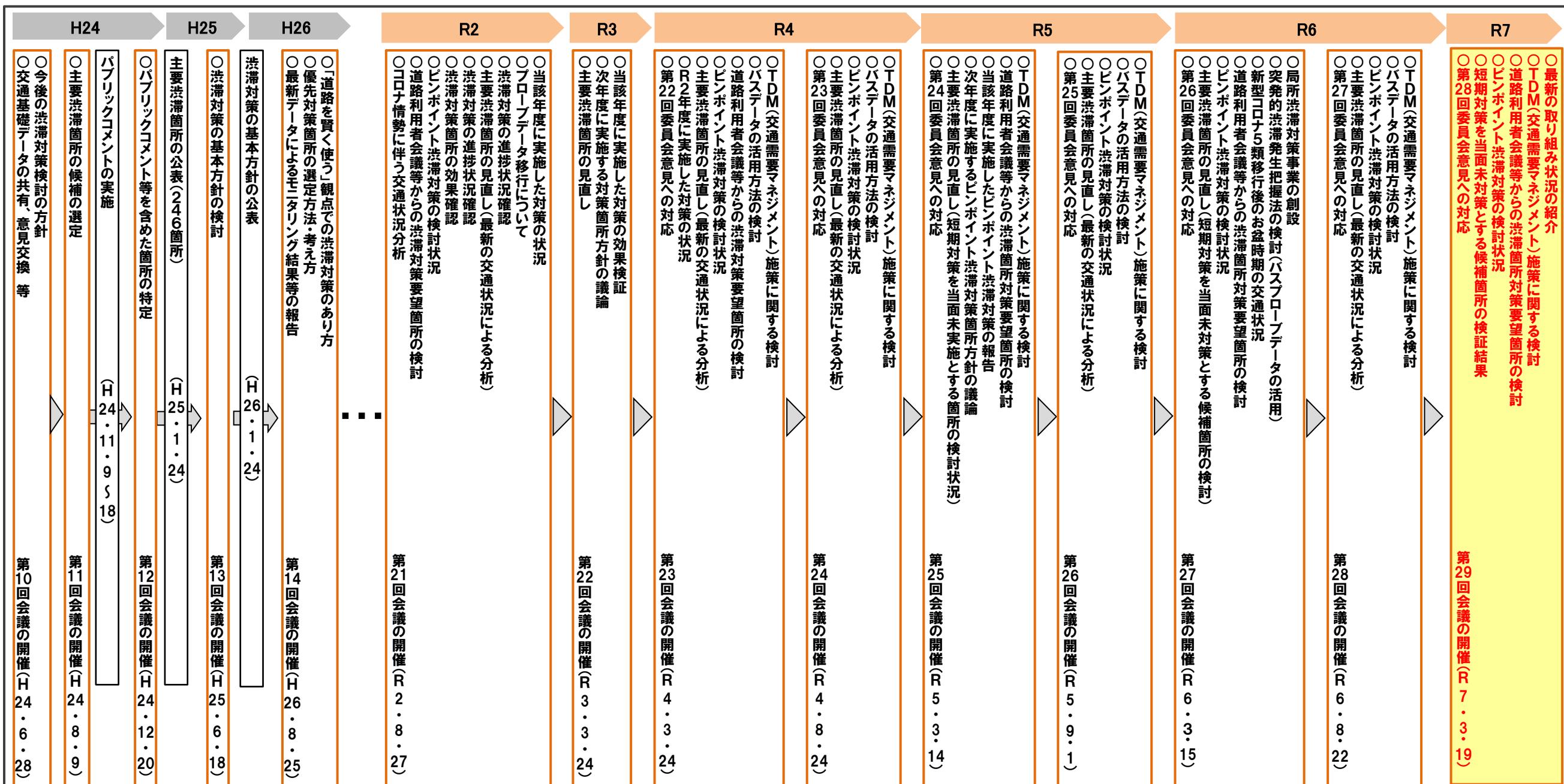
1. 委員会の検討経緯と今回の論点

1-1 これまでの検討経緯

【渋滞対策の方針】

- 「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ（高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月）」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性を指摘。
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化を議論。
- 交通観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細に係るデータが容易に取得可能となり、観測環境が大きく改善（ETC2.0データ活用）。
- 上記課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む。

【渋滞対策検討の経緯】



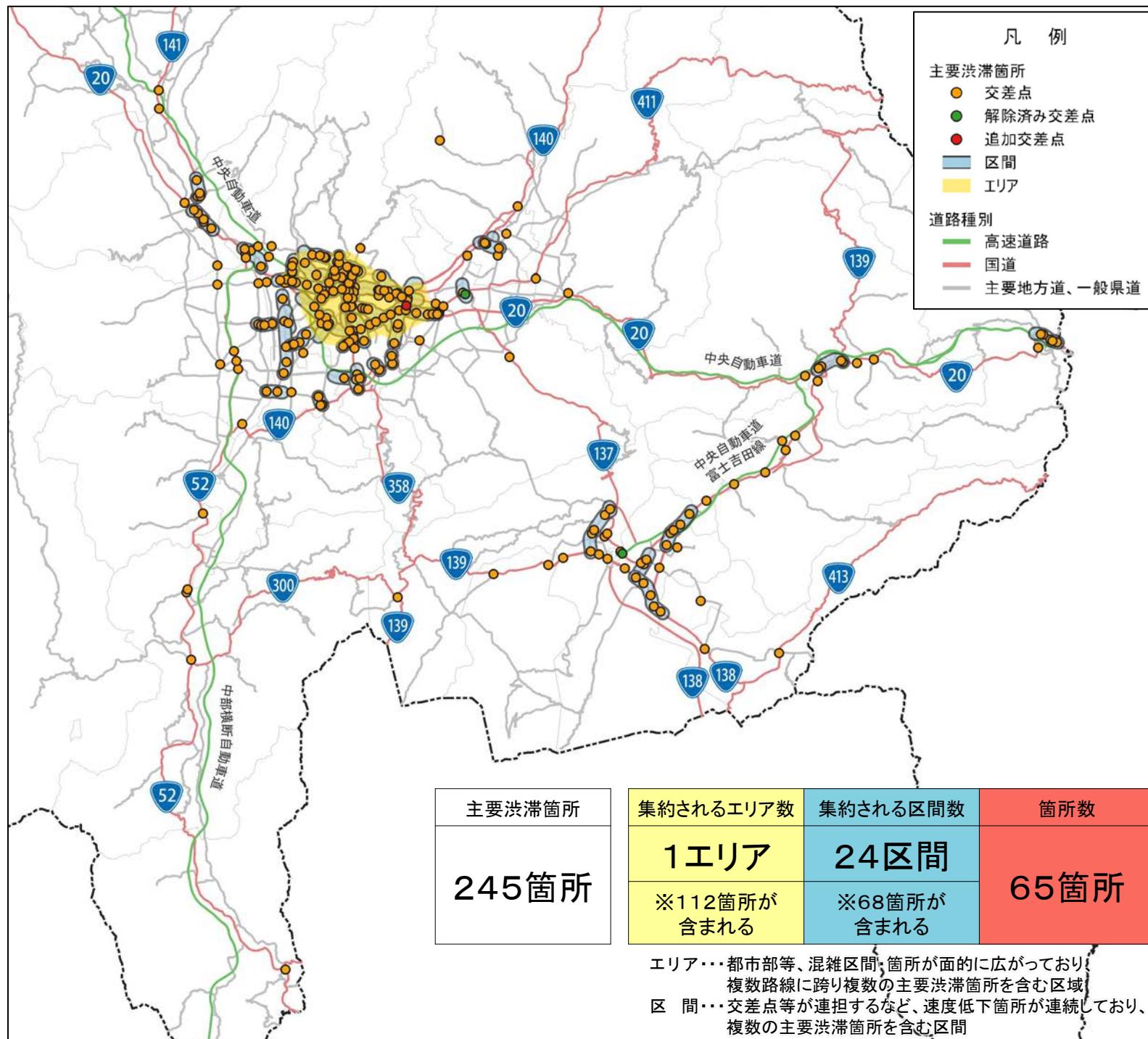
1. 委員会の検討経緯と今回の論点

1-1 これまでの検討経緯

【主要渋滞箇所を選定状況】

○山梨県の主要渋滞箇所は246箇所(一般道路)が選定され、平成28年7月に1箇所((仮称)川中島交差点)、平成29年7月に1箇所((仮称)新倉1交差点)を解除。平成30年7月に1箇所(向町中交差点)を追加。現在全245箇所。

■主要渋滞箇所



■主要渋滞箇所解除一覧

交差点名	箇所住所	対策事業	解除年度
(仮称)川中島	笛吹市	一宮山梨線バイパス 笛吹橋拡幅	H28
(仮称)新倉1	富士吉田市	吉田河口湖バイパス	H27

■主要渋滞箇所追加一覧

交差点名	箇所住所	追加原因	追加年度
向町中	甲府市	大規模商業施設立地	H30

1. 委員会の検討経緯と今回の論点

1-2 今回の論点

○ 今回の論点は大きく5項目

1. 第28回委員会意見への対応

- ・ 第28回委員会の内容の振り返り 等

2. 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)

- ・ 短期対策を当面未対策とする候補箇所の検討 (ヒアリング結果報告)

3. ピンポイント渋滞対策の検討状況

- ・ ピンポイント渋滞対策の対策優先箇所の検討状況

4. 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討

- ・ 渋滞対策要望箇所の状況

5. TDM施策(交通需要マネジメント)に関する検討

- ・ 甲府市におけるサイクル・アンド・ライドの状況

6. その他

- ・ 最新の取り組み状況の紹介

2. 第28回委員会意見への対応

第28回委員会の振り返り

<開催日時>

令和6年8月22日(木) 10時00分～

<場所>

山梨県立やまなし地域づくり交流センター

<主な審議事項(渋滞対策)>

- 委員会の検討経緯と今回の論点
- 第27回委員会意見への対応
- 渋滞対策の進捗状況及び最新の交通状況
- 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)
- ピンポイント渋滞対策の検討状況
- バスデータの活用方法の検討
- TDM施策に関する検討
- 第29回委員会に向けて



第28回委員会の実施状況

■ 主な意見と対応

<主要渋滞箇所の短期対策を当面未対策とする候補箇所(3箇所)の検討状況について>

- 主要渋滞箇所の解除を検討する3交差点(サンスポーツランド入口、玉諸神社北、富士見バイパス北)について、サンスポーツランド入口は経過観察、玉諸神社北は当面未対策、富士見バイパス北はヒアリングを実施することです承。

<新たな渋滞箇所の追加検討>

- 令和6年度の主要渋滞箇所の追加箇所について、追加の必要性はなしとして了承。ただし、大月バイパス全線開通による影響が懸念される箇所については、継続してモニタリングを実施することです承。

<その他>

- 南アルプス市に大規模商業施設であるコストコが立地することによる渋滞懸念があり、それへの対応や見通しがあれば教えてほしい。
- ドローンタクシーをはじめ、新たなモビリティについても情報収集いただけたらと思う。
- リニア中央新幹線の整備に関連して(仮称)山梨県駅周辺の道路整備や開発はどのような流れになっているのか情報があれば教えてほしい。
- AIが様々な分野で活用されているが、交通渋滞に対してAIがどのように活用されているか情報があれば教えてほしい。

⇒上記4項目について、公開されている資料の収集を行い、取りまとめる。→<資料4「情報提供」資料>にて報告

- 新山梨環状道路のように、部分開通に応じて渋滞箇所が変化していくことはある程度予測できることなので、事前に部分開通周辺の主要渋滞箇所について渋滞対策を検討した方がいいのではないか。

⇒大規模改築等により交通流動が変化し、周辺の主要渋滞箇所の渋滞悪化が懸念される場合、渋滞対策の必要性を検討する。

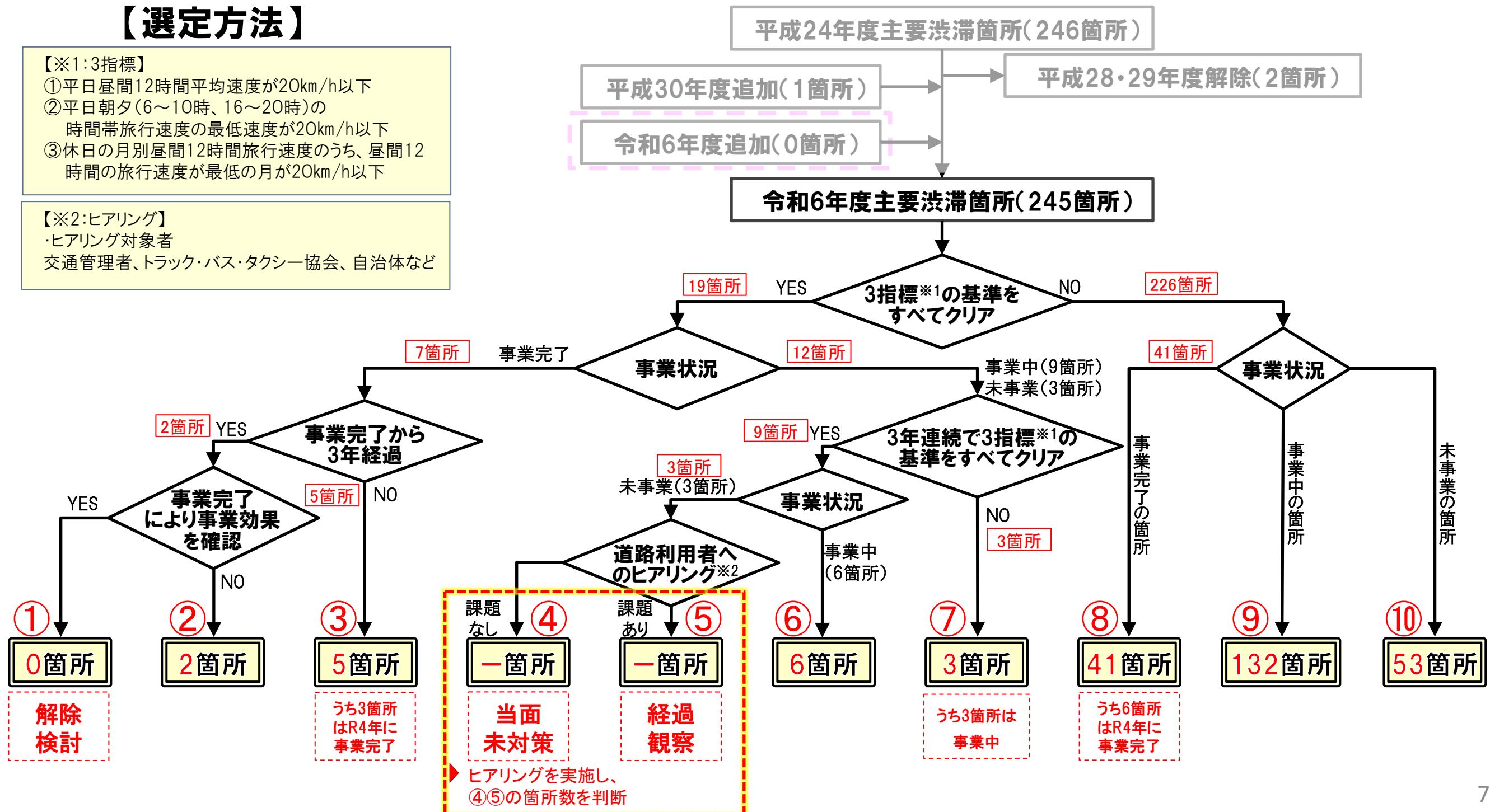
3. 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)

3-1 短期対策を当面未対策とする候補箇所の検討【フロー④⑤】

○ETC2.0プローブデータによる速度算出と事業完了状況より、各箇所にてモニタリングを実施。
 ○フロー①②③⑧については、前回第28回委員会にて報告。
 ○本委員会では、3年連続基準を上回り、事業状況が未事業である3箇所について、交通管理者や道路利用者などにヒアリング調査を実施し、当面の渋滞対策の要否を判断。【フロー④⑤】

【選定方法】

- 【※1:3指標】
- ①平日昼間12時間平均速度が20km/h以下
 - ②平日朝夕(6~10時、16~20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下
 - ③休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下
- 【※2:ヒアリング】
- ・ヒアリング対象者
交通管理者、トラック・バス・タクシー協会、自治体など



3. 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)

3-1 短期対策を当面未対策とする候補箇所の検討【フロー④⑤】

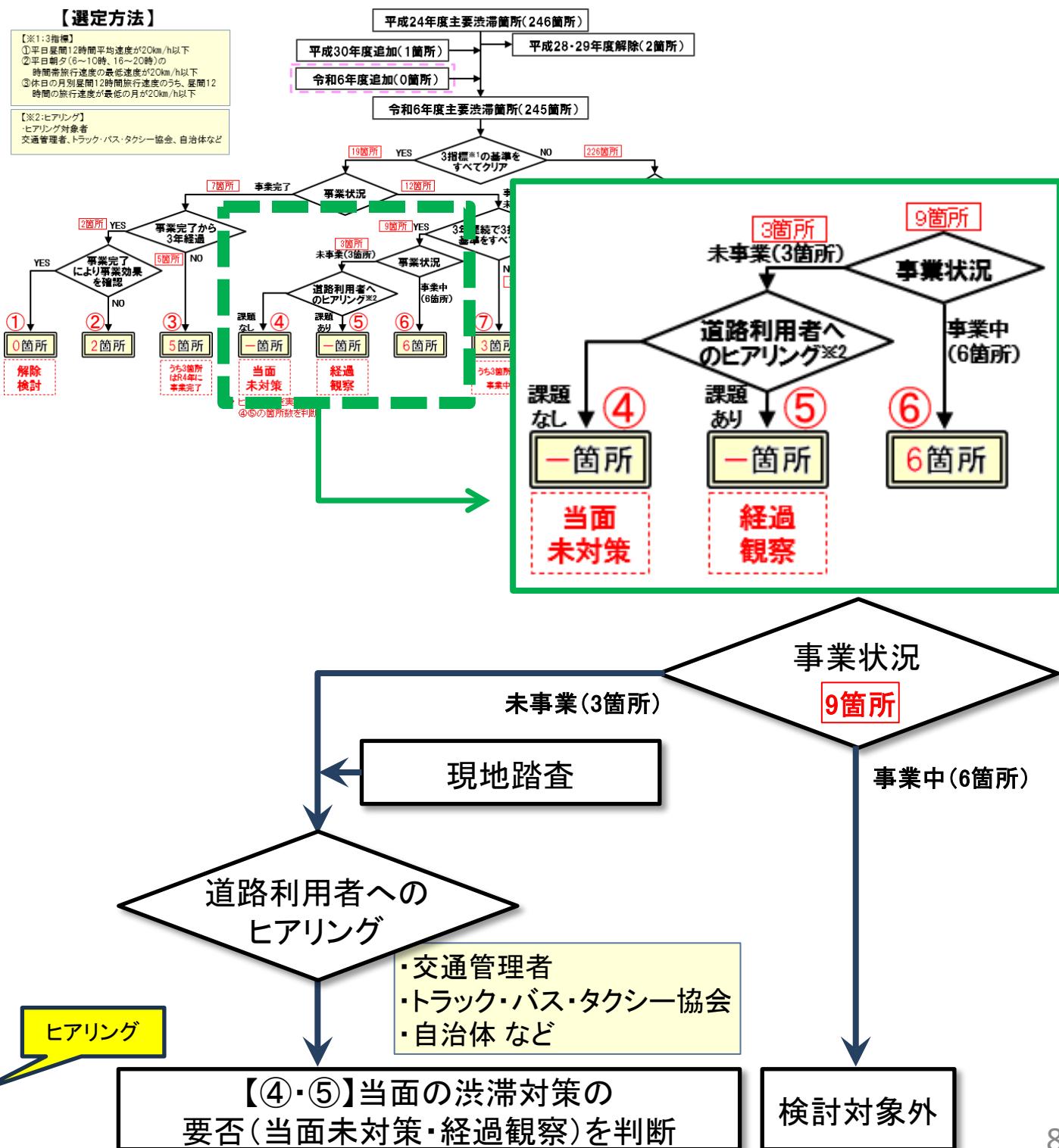
○ヒアリング調査の対象となる主要渋滞箇所は、富士見バイパス北交差点(富士吉田市)の1箇所。サンスポーツランド入口交差点(都留市)は経過観察、玉諸神社北交差点(甲府市)は当面未対策として了承。

■該当する主要渋滞箇所の位置



選定フロー	箇所名	市町村	路線名	道路管理者	事業状況
1 ⑤	サンスポーツランド入口	都留市	国道139号	国交省	未事業
2 ④⑤	富士見バイパス北	富士吉田市	国道139号	国交省	未事業
3 ④	玉諸神社北	甲府市	国道411号	山梨県	未事業

■当面の渋滞対策の要否判断フロー



3. 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)

3-1 短期対策を当面未対策とする候補箇所の検討【フロー④⑤】

- 対象の1箇所について、現地踏査およびETC2.0プローブデータの速度から交通状況を把握。
- 上記の交通状況を踏まえ、交通実態について交通管理者・道路利用者にヒアリング調査を実施。

箇所名 (路線名・市町村)	交差点 平面図	現地写真	旅行速度(3指標)			分析結果	
			①	②	③		
2 ふじみ 富士見バイパス北 (国道139号・ 富士吉田市)			方向A	27.1	26.2	26.5	<ul style="list-style-type: none"> ○選定時は、全ての指標、全ての方向が基準値(20km/h)を下回っていた。 ○直近3年間(R3~R5)のモニタリング結果では、全ての指標、全ての方向で基準値を上回っている。 ○現地踏査では、方向Aは右折レーンに入りきらない右折車両が起因の滞留が、方向Bは隣接する下の水交差点の先詰まりによる滞留が発生している状況。
			方向B	28.8	26.5	27.1	
			方向C	23.6	21.6	23.5	

3 指標
 ①平日昼間12時間平均速度が20km/h以下
 ②平日朝夕(6~10時、16~20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下
 ③休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下

赤字:速度が20km/h以下
 青字:速度が20km/h超
 青太字:速度が20km/h超かつ最新(R5)の数値が選定時より向上

3. 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)

3-1 短期対策を当面未対策とする候補箇所の検討【フロー④⑤】

(1) ヒアリング調査の実施先と質問内容

○対象の1箇所に対する当面の渋滞対策の要否を判断するため、道路利用者や交通管理者、各自治体に対して、交通状況および対策必要性の可否を確認するためのヒアリング調査を実施。

ヒアリング調査 実施先	国道139号 富士見バイパス北 交差点
一般社団法人 山梨県タクシー協会	○
一般社団法人 山梨県トラック協会	○
一般社団法人 山梨県バス協会	○
山梨県警察本部 交通部交通規制課 ※富士吉田警察署	○
富士吉田市役所 道路公園課	○

		質問内容
富士見バイパス北交差点 国道139号	問1	富士見バイパス北交差点の渋滞実感について
	問2	問1で「1. 渋滞している」と回答された理由について、具体的な方向や時間帯、時期、原因など
	問3	交差点が渋滞している際の行動について
	問4	交差点の周辺の交通状況について
	問5	富士吉田上暮地バイパスの部分開通による道路交通の変化について

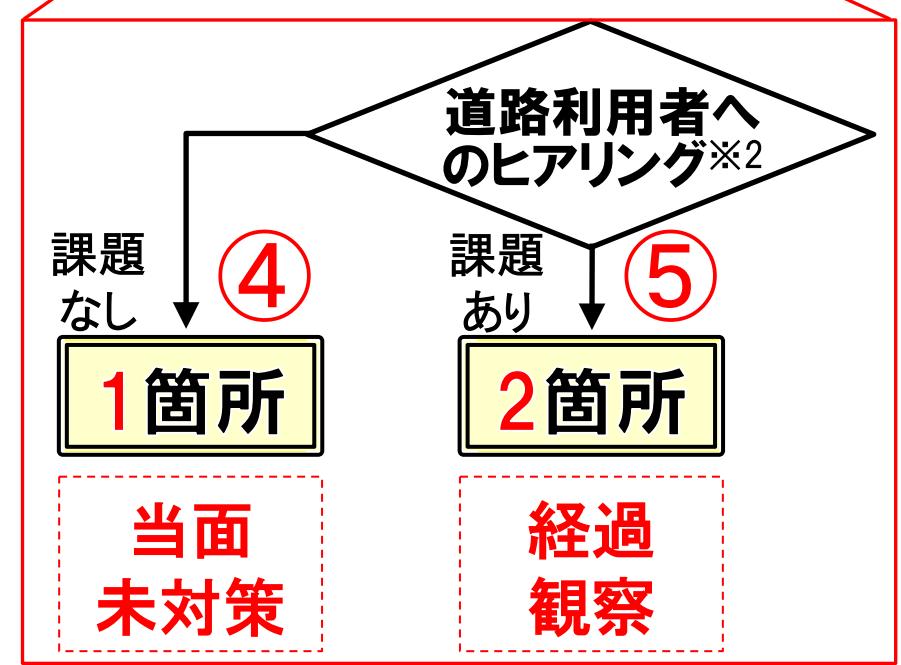
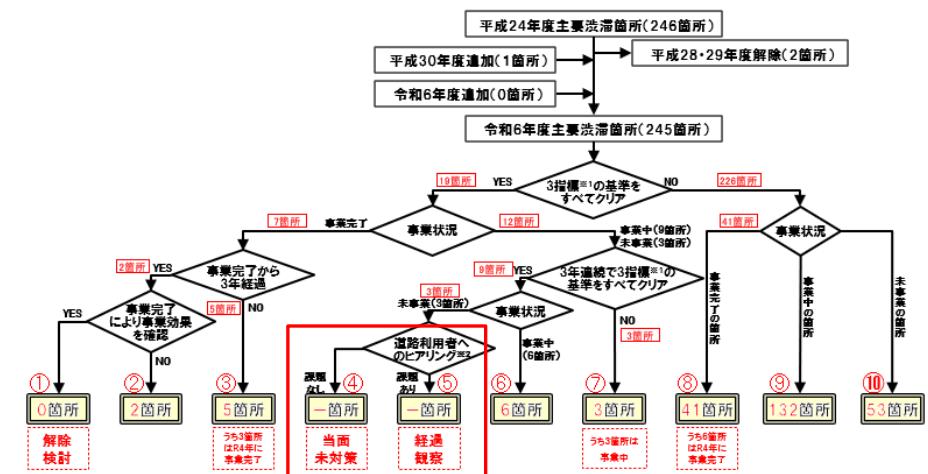
3. 主要渋滞箇所の見直し(最新の交通状況による分析)

3-1 短期対策を当面未対策とする候補箇所の検討【フロー④⑤】

(2)ヒアリング調査結果

○国道139号富士見バイパス北交差点は渋滞していると思う、という意見である。
 ○富士見バイパス北交差点は課題あり(経過観察)と判断。

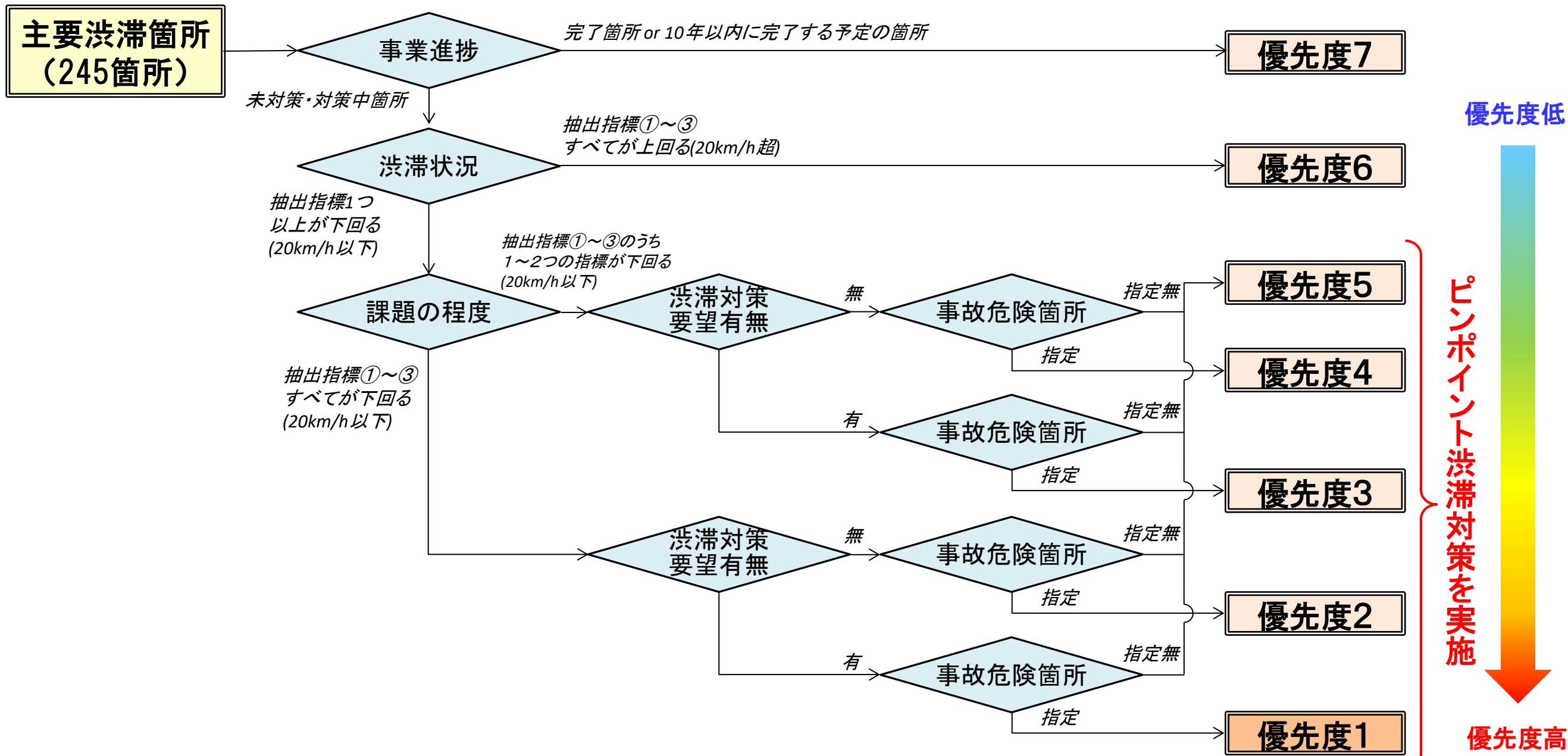
ヒアリング調査結果	国道139号 富士見バイパス北交差点
一般社団法人 山梨県タクシー協会	西桂町方面からの方向は右折レーンに向かう車両が多く、朝夕が特に激しいものの、常に渋滞。 富士吉田方面、下吉田方面からは朝夕に渋滞。隣接する下の水交差点の信号との連携が良くない。
一般社団法人 山梨県トラック協会	渋滞しているとは思わない。
一般社団法人 山梨県バス協会	西桂から山中湖方面は右折レーンに入る車両が多く、右折待機の車両が右折レーンに入りきらず、道路の流れを遮るため、常に渋滞。 山中湖から西桂方面は隣接する下の水交差点の先詰まりが起因となり、朝夕に渋滞。
山梨県警察本部 交通部交通規制課 ※富士吉田警察署	平日の朝夕に山中湖方面で右折待ちが起因と思われる先詰まりによる渋滞。
富士吉田市役所 道路公園課	西桂から山中湖方面、山中湖から西桂方面ともに朝夕に渋滞。山中湖から西桂方面は、隣接する下の水交差点の右折車両が起因と思われる先詰まりが原因。
事務局(案)	課題あり (経過観察)



4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-1 優先対策箇所の選定フロー

- ピンポイント渋滞対策の優先順位は、主要渋滞箇所245箇所を対象として、10年以内の対策完了の有無、事業の進捗状況、渋滞状況、渋滞対策要望の有無、事故危険箇所指定の有無により設定。
- 3指標の基準をすべて下回り、要望があり、事故危険箇所に該当する箇所を優先度が高いものと判定。



優先度低

ピンポイント渋滞対策を実施

優先度高

- 【抽出指標】
- ①平日昼間12時間平均速度が20km/h以下
 - ②平日朝夕(6~10時、16~20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下
 - ③休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下

4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-3 対策内容を検討する箇所を選定

- 平成31年度は、優先度1～4の19箇所、優先度5の1箇所の計20箇所を検討。
- 令和2年度以降は、優先度5の平日昼間12時間速度の低い順に各年9～10箇所を検討。
- 本年度は、優先度5の9箇所(山梨県管理道路)を選定。

■優先度1～4

■優先度5

国土交通省管理

山梨県管理

優先度	国土交通省管理				山梨県管理															
	No	主要渋滞箇所	道路管理者	平日昼間12時間平均速度(km/h)	No	主要渋滞箇所	道路管理者	平日昼間12時間平均速度(km/h)	No	主要渋滞箇所	道路管理者	平日昼間12時間平均速度(km/h)								
1	208	一ツ谷	国交省		244	上野原市役所前	国交省	4.4	146	押原小北	山梨県	5.0	173	中央協撰所	山梨県	9.9	28	石和温泉郷東入口	山梨県	15.7
	4	国母	国交省		79	東恋路	国交省	5.1	88	豊積橋南	山梨県	5.4	210	韮崎インター西	山梨県	10.0	169	浅原橋東詰	山梨県	16.2
	12	船山橋北詰	国交省		69	忍野入口	国交省	6.0	181	飯喰東	山梨県	5.9	119	検察庁南	山梨県	10.3	132	(仮称)大里町2	山梨県	16.5
2	100	(仮称)小笠原	山梨県		84	(仮称)船津	国交省	7.8	131	築地新居	山梨県	5.9	225	長塚中	山梨県	10.7	171	(仮称)大里町3	山梨県	16.9
	102	十五所	国交省		92	寿団地入口	国交省	8.3	191	等々力	山梨県	6.8	168	乙黒	山梨県	10.7	239	須玉インター入口	山梨県	17.4
	206	本町	山梨県		78	船津登山道入口	国交省	11.8	95	河口湖美術館前	移管※	7.1	166	朝日三丁目	山梨県	10.8	209	東中学校前	山梨県	17.4
	246	新町	国交省		103	十日市場	国交省	14.2	126	朝日町ガード南	山梨県	7.3	94	河口湖大橋北	山梨県	11.2	82	愛染通り	山梨県	17.5
	242	上野原高校入口	国交省		90	下の水	国交省	14.6	151	徳行立体北	山梨県	7.7	77	船津三叉路	山梨県	11.3	25	金鳥居	山梨県	18.2
	241	(仮称)上野原1	国交省		3	中小河原※	国交省	14.9	142	信玄橋東詰	山梨県	7.9	247	向町中	山梨県	11.3	35	上今諏訪	山梨県	18.3
	34	新町二丁目	国交省		243	(仮称)上野原2	国交省	17.9	74	中曽根	山梨県	8.0	91	乳ヶ崎北	山梨県	11.5	228	大下条	山梨県	18.6
	190	柏尾	国交省		52	猿橋小入口	国交省	18.4	221	中下条	山梨県	8.0	111	万才橋西	山梨県	12.1	76	小明見	山梨県	18.6
3	8	向町2	国交省		224	(仮称)下今井2	国交省	18.8	73	富士山駅前	山梨県	8.3	238	薬師堂橋東詰	山梨県	12.3	18	乳ヶ崎南	山梨県	21.5
	40	貢川2丁目	国交省		213	(仮称)下今井1	国交省	21.0	109	山梨大学病院入口	山梨県	8.4	99	(仮称)都留	山梨県	13.1	46	飯喰	山梨県	22.9
4	67	本栖	国交省		204	峡北消防本部西	国交省	23.2	145	浅原橋西	山梨県	8.5	180	(仮称)大里町1	山梨県	14.2	134	(仮称)今諏訪	山梨県	24.1
	101	六科	山梨県		96	上暮地白糸	国交省	27.1	207	(仮称)水神	山梨県	8.5	89	(仮称)浅利	山梨県	14.2	61	開国橋西	山梨県	25.7
	53	富士見バイパス北	国交省						194	若宮	山梨県	8.6	87	三郡橋北	山梨県	14.7	93	(仮称)浅川	山梨県	27.0
	57	山中湖西	国交省						148	信玄橋西詰	山梨県	9.3	6	武田	山梨県	14.9	81	(仮称)忍草2	山梨県	28.8
	56	大田和	国交省						202	御勅使工業団地入口	山梨県	9.5	72	お茶屋町東	山梨県	15.4	85	平野	山梨県	33.8
	55	ひばりが丘	国交省						108	流通センター北	山梨県	9.8	75	新倉	山梨県	15.6				

【出典】平日昼間12時間平均速度：平成29年1～12月の民間プローブデータ

※河口湖美術館前交差点については、地元自治体へ移管。

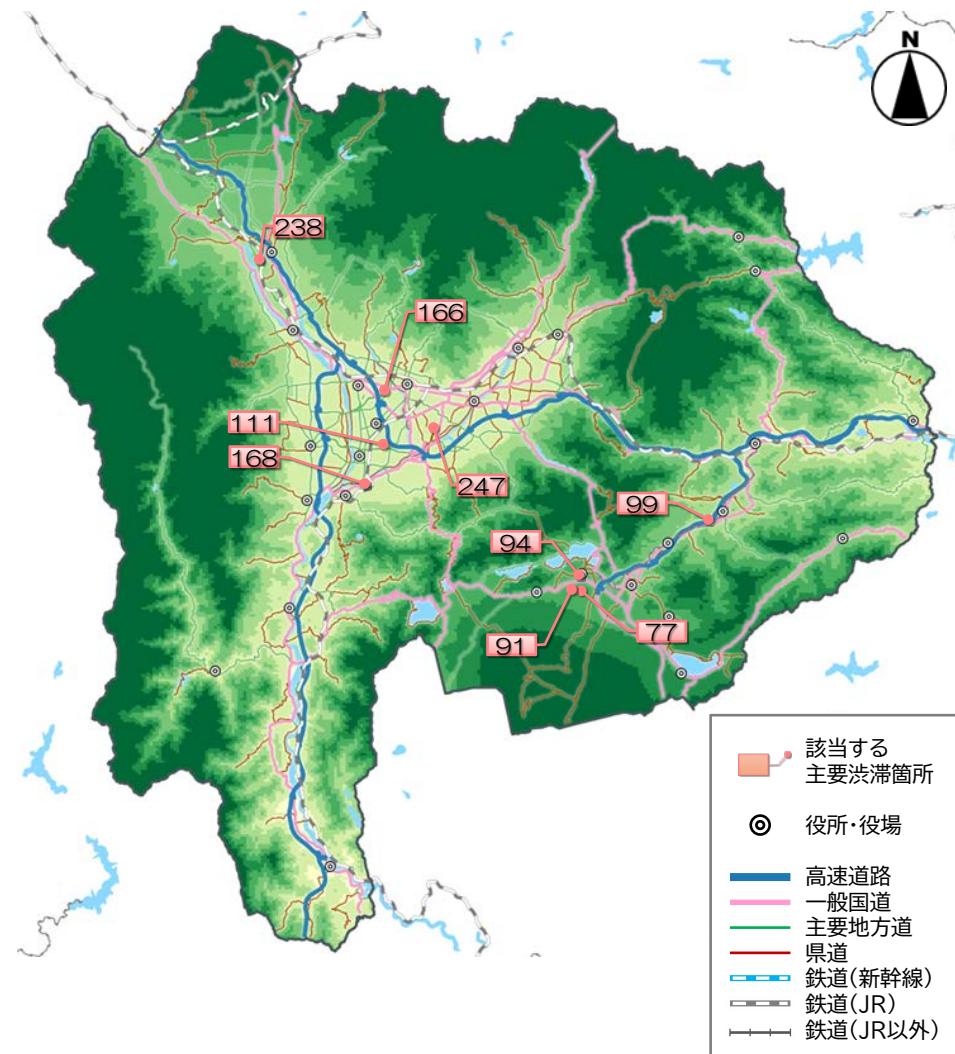
4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-4 本年度(令和6年度)のピンポイント渋滞対策の検討箇所

○本年度(令和5年度)にピンポイント渋滞対策(短期対策)の検討を実施する箇所は、山梨県管理道路の9箇所。
 ○ピンポイント渋滞対策が可能な5箇所について、対策内容を検討。

■令和6年度のピンポイント渋滞対策箇所と対策内容(短期対策)

No.	主要渋滞箇所	道路管理者	対策内容
168	おとぐろ 乙黒	山梨県	信号現示の見直し
166	あさひさんちょうめ 朝日三丁目	甲府市	経過観察(渋滞は発生していない)
94	かわぐちこおおはしきた 河口湖大橋北	山梨県	平日は渋滞しておらず、休日の渋滞は観光交通の影響によるものと思われる
77	ふなっさんさろ 船津三叉路		平日は渋滞しておらず、休日の渋滞は観光交通の影響によるものと思われる
247	むこうまちなか 向町中		先詰まりや沿道施設の出入り交通による渋滞が発生しており、広域での対策検討が必要
91	ちがさききた 乳ヶ崎北		平日は渋滞しておらず、休日の渋滞は観光交通の影響によるものと思われる
111	まんざいばしにし 万才橋西		事業化に向けて現在、交差点改良の設計を実施中(完了時期については未定)
238	やくしどうばしひがしづめ 薬師堂橋東詰		バイパス事業を実施中(完了時期については未定)
99	(仮称)都留		事業化に向けて現在、交差点改良の設計を実施中(完了時期については未定)



4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-4 本年度(令和6年度)のピンポイント渋滞対策の検討箇所

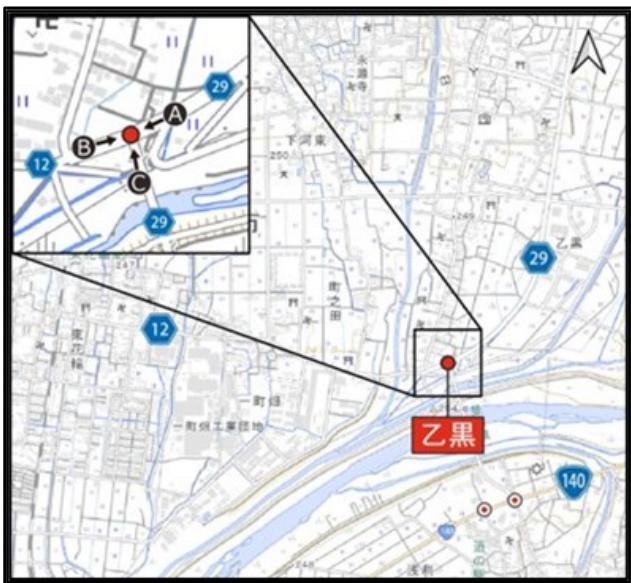
(1) (主)甲府中央右左口線 乙黒 (中央市)

○乙黒交差点は、(主)韮崎南アルプス中央線と(主)甲府中央右左口線に位置している。
 ○C方向について、信号の青時間が短く車両の捌け残りや渋滞が発生することがあるため、信号現示の見直しによって、渋滞緩和に期待。

位置図

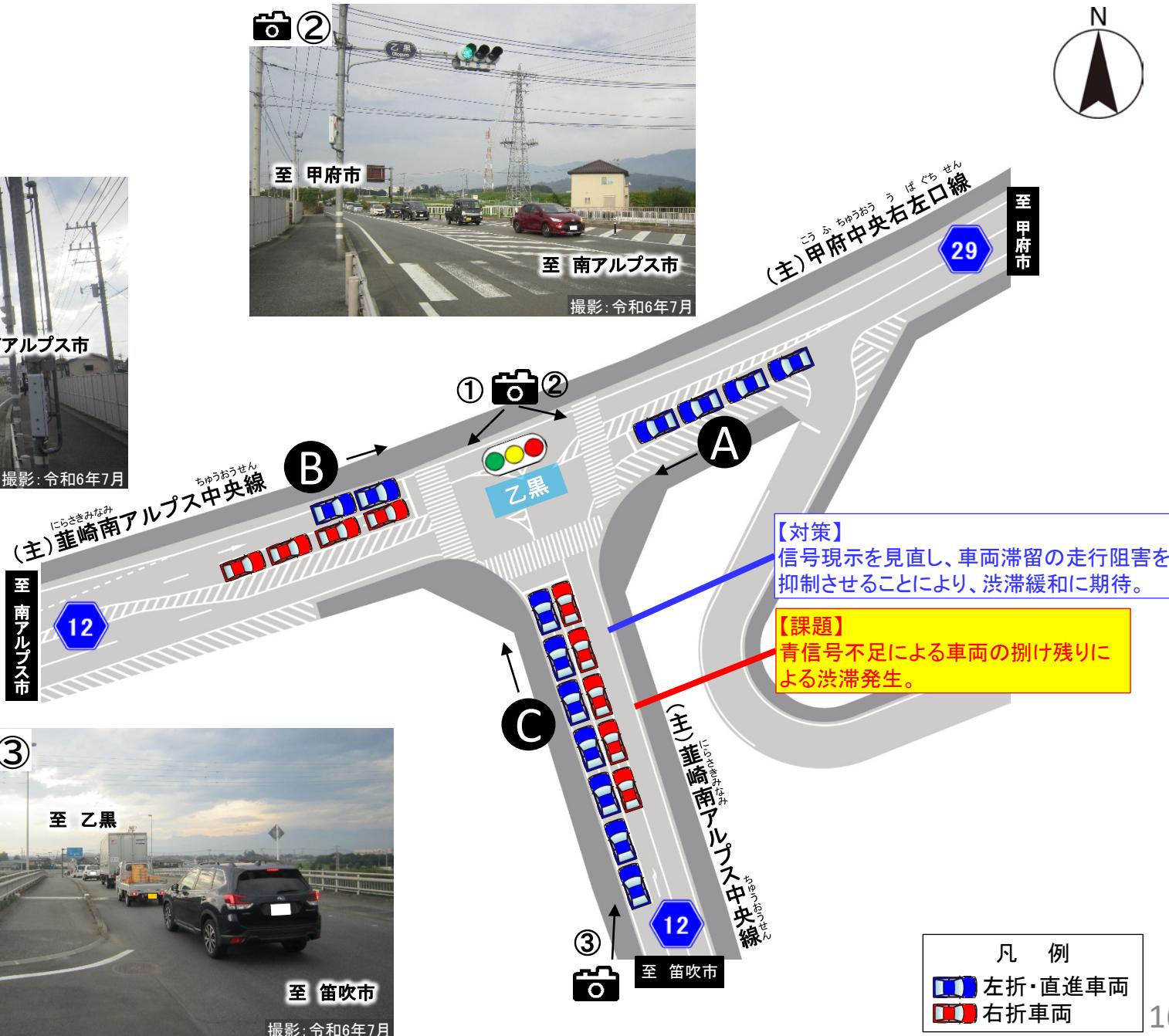


広域図



【出典】国土地理院地図

渋滞発生状況



4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-4 本年度(令和6年度)のピンポイント渋滞対策の検討箇所 (2) 国道140号 向町中 (甲府市)

○向町中交差点は、国道140号と市道に位置している。
 ○B方向、C方向について、先詰まり等による渋滞が発生している状況である。ピンポイント渋滞対策では改善は困難であるため、広域での対策検討が必要。

位置図



渋滞発生状況



広域図



凡例

	左折・直進車両
	右折車両

4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-4 本年度(令和6年度)のピンポイント渋滞対策の検討箇所 (3) (主)甲府中央右左口線 万才橋西 (甲府市)

○万才橋西交差点は、(主)甲府中央右左口線と市道に位置している。
 ○C方向について、交通量が多く、渋滞が発生している状況であり、事業化に向けて現在、交差点改良の設計を実施中。

位置図



広域図



【出典】国土地理院地図

渋滞発生状況

4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-4 本年度(令和6年度)のピンポイント渋滞対策の検討箇所

(4) 国道141号 薬師堂橋東詰 (北杜市)

○薬師堂橋東詰交差点は、国道141号と(一)日野春停車場線に位置している。

○D方向について、幅員が狭小で薬師堂橋付近の道路線形が悪く、大型車同士のすれ違いも困難な状況。現在、岩根橋東交差点に接続する鯨バイパスを整備しており、交通が転換することで渋滞緩和に期待。

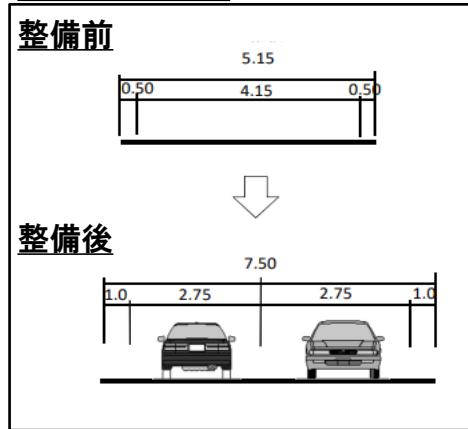
位置図



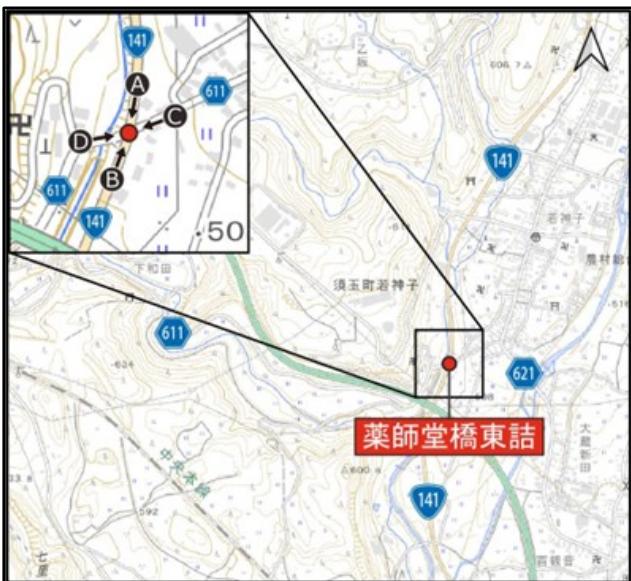
渋滞発生状況



標準断面図



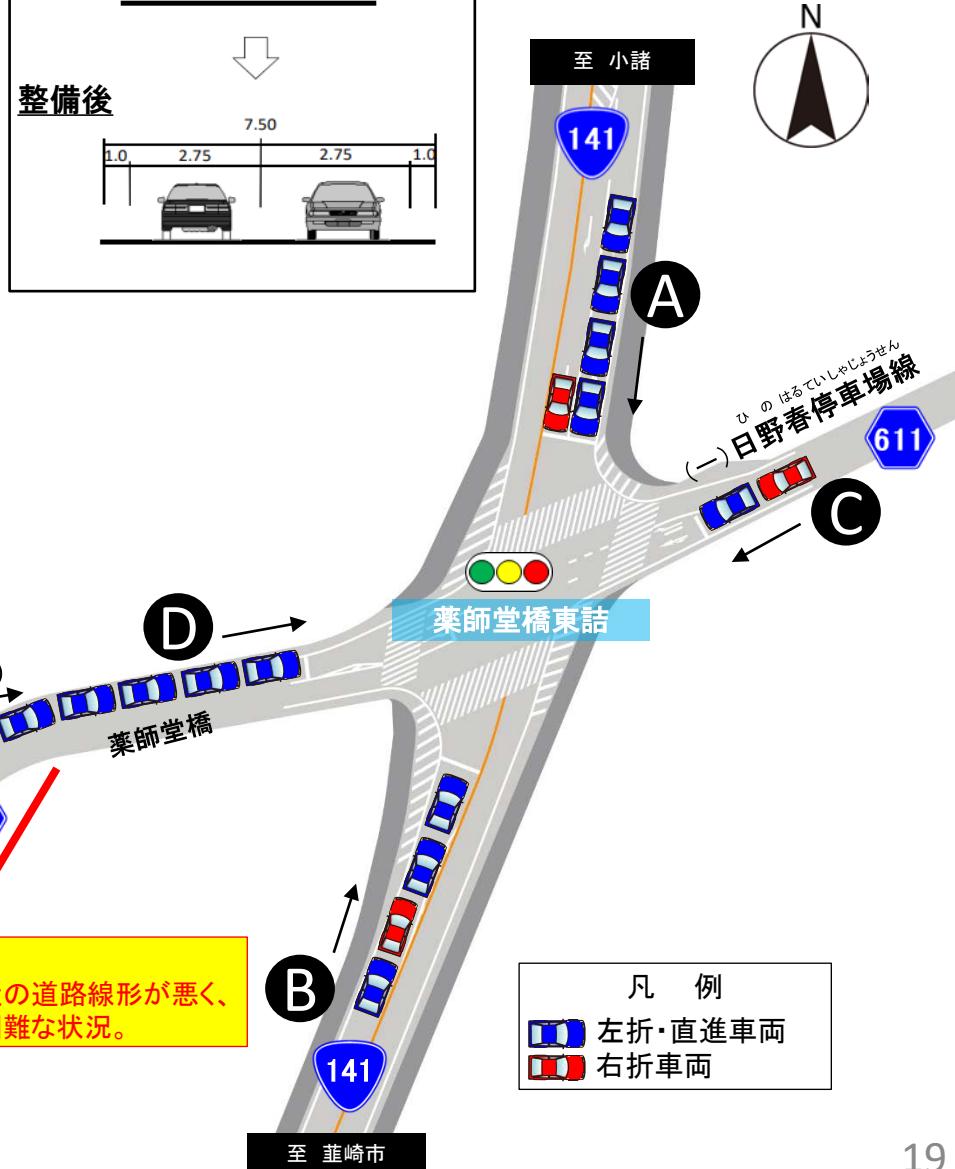
広域図



【対策】
 (一)日野春停車場線と国道141号とを結ぶ2車線のバイパスを整備し、薬師堂橋東詰交差点に流入する交通を岩根橋東交差点に転換させて、薬師堂橋東詰交差点の渋滞緩和に期待。

【課題】
 幅員が狭小で薬師堂橋付近の道路線形が悪く、大型車同士のすれ違いが困難な状況。

凡例
 — 整備前
 - - - 整備後



凡例
 [Blue/White] 左折・直進車両
 [Red/White] 右折車両

【出典】国土地理院地図

4. ピンポイント渋滞対策の検討状況

4-4 本年度(令和6年度)のピンポイント渋滞対策の検討箇所

(5) (一) 高畑谷村停車場線 (仮称)都留 (都留市)

○(仮称)都留交差点は、(一)高畑谷村停車場線と市道に位置している。
 ○交差点の県道南側に富士急行の踏切があり、先詰まりにより交差点内に渋滞が発生している状況。
 ○C、D方向について、交差点混雑の影響により渋滞が発生している。線形も悪く、右折レーンもないため、まずは交差点改良の設計を実施中。

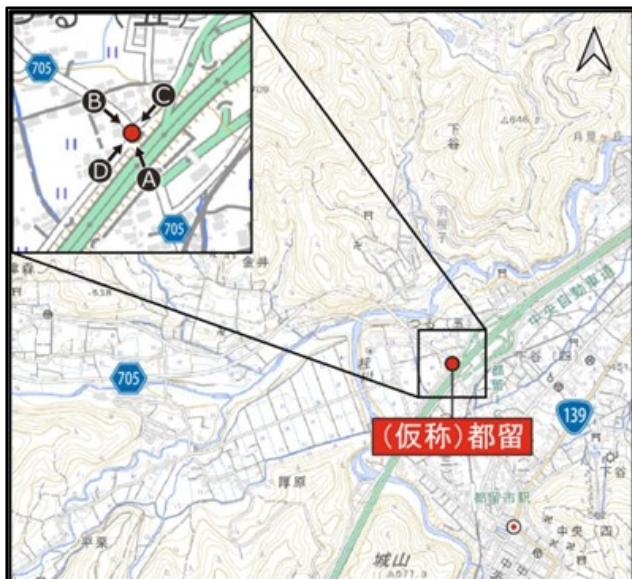
位置図



渋滞発生状況



広域図



【出典】国土地理院地図

凡例

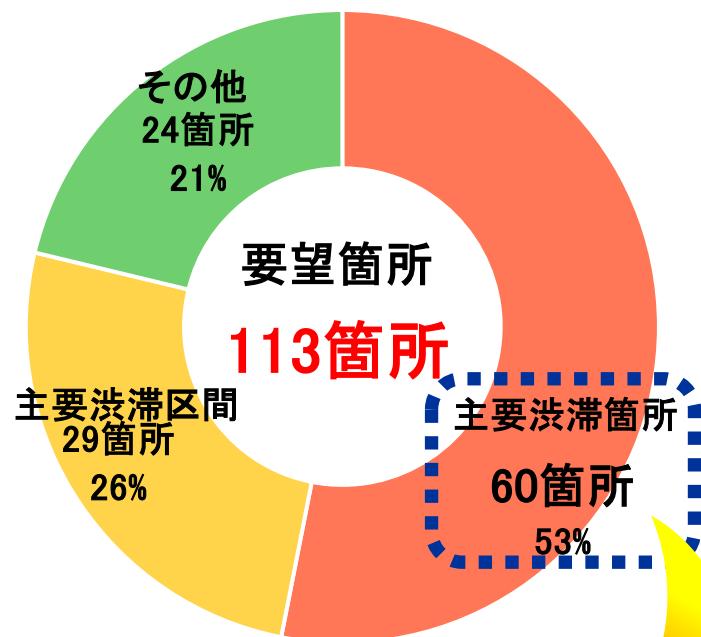
 左折・直進車両
 右折車両

5. 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討

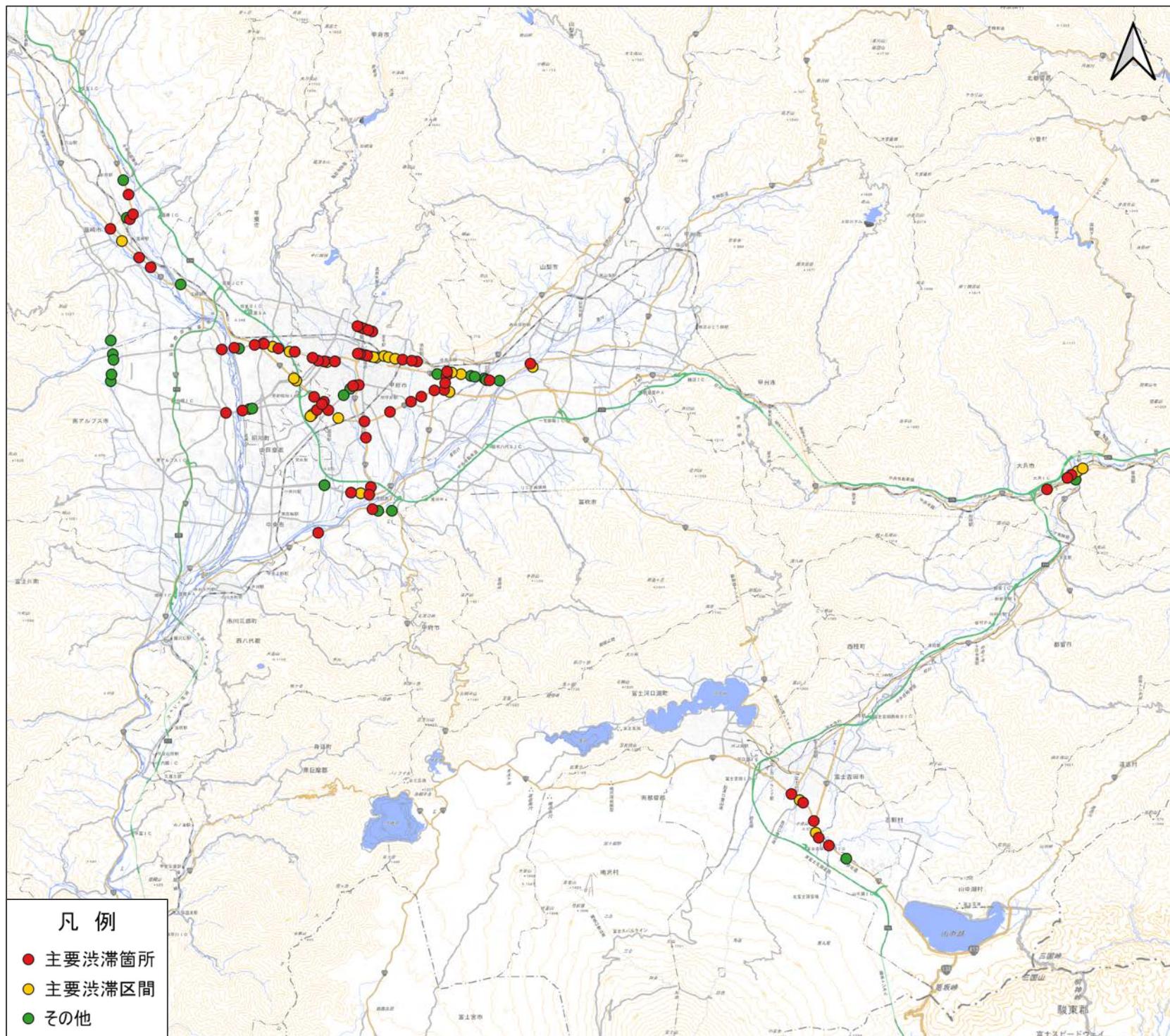
5-1 全国道路利用者会議からの渋滞対策要望箇所

- 令和6年10月、全国道路利用者会議から、山梨県内の113箇所について渋滞対策の要望あり。
- 113箇所のうち、60箇所(約半数)は主要渋滞箇所。
- 残りの53箇所については、引続き状況を確認。

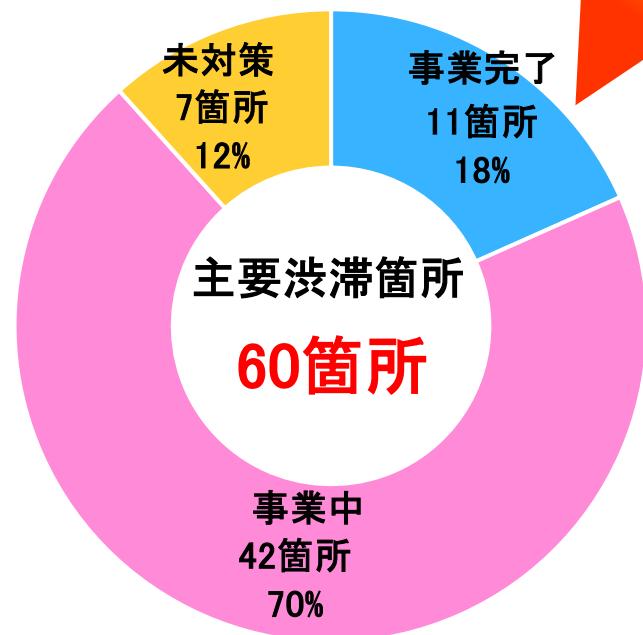
■ 渋滞箇所区分



■ 位置図



■ 事業進捗状況



※令和7年2月時点

6. TDM施策(交通需要マネジメント)に関する検討

6-1 甲府市におけるサイクル・アンド・ライドの状況

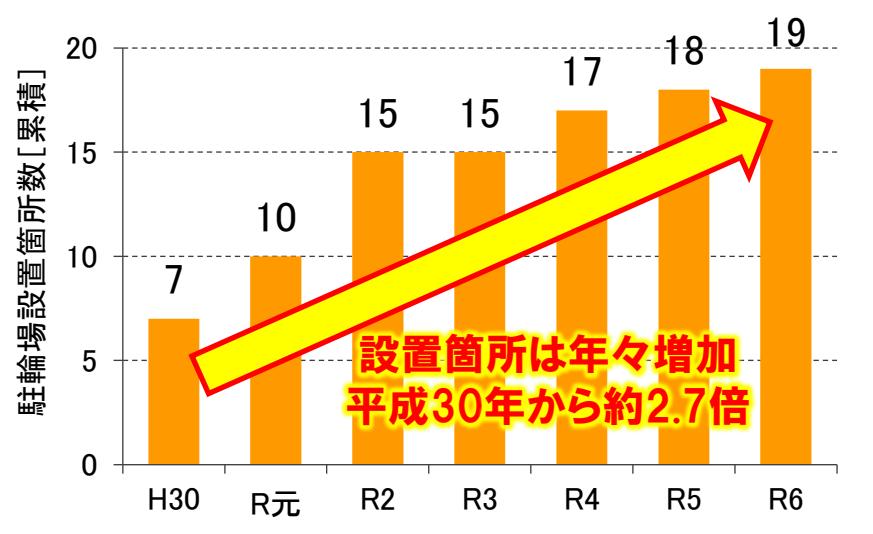
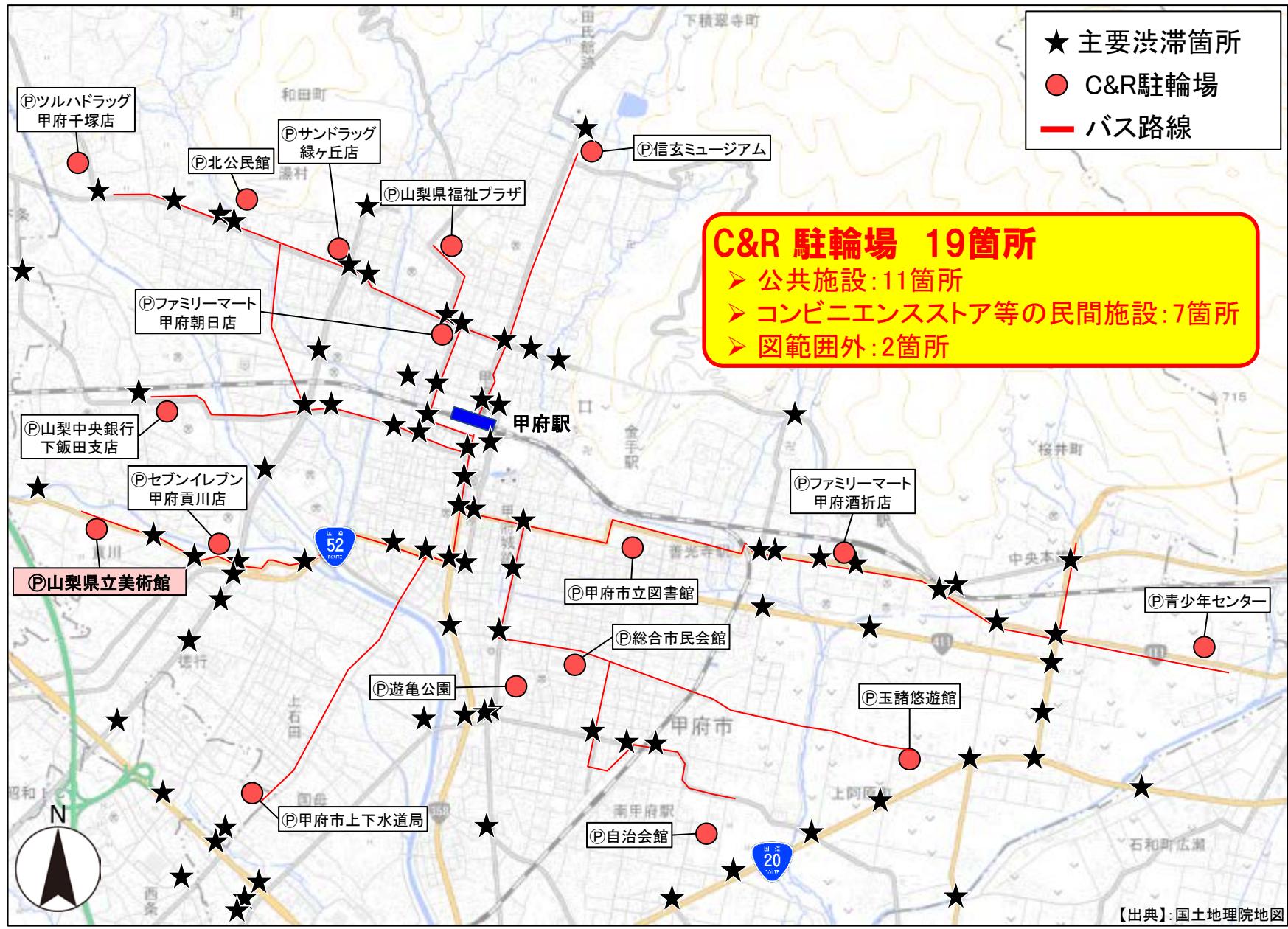
○山梨県内では、甲府市でサイクル・アンド・ライドの取組みを実施。
 ○甲府市のサイクル・アンド・ライドは、朝夕ピーク時の渋滞緩和を図ることを目的に、路線バスの利用促進のため、「サイクル・アンド・ライド」駐輪場を設置。設置箇所は年々増加しており、平成30年度から約2.7倍。

■甲府市のサイクル・アンド・ライドの取組み

甲府市交通政策課に確認済み

○実施箇所

○駐輪場設置箇所数の推移



国道52号にある山梨県立美術館の駐輪場



※令和6年5月時点

2. その他

<参考>最新の取り組み状況の紹介

第1回 韮崎市域交通対策検討会議

○甲府河川国道事務所と山梨県県土整備部、韮崎市建設課では、国道20号韮崎市域の交通状況、渋滞対策等について、情報共有・検討会を図ることとし、「韮崎市域交通対策検討会議」を設立し、令和7年1月31日に第1回韮崎市域交通対策検討会議を実施。

会議・協議会

韮崎市域交通対策検討会議

甲府河川国道事務所と山梨県県土整備部、韮崎市建設課では、国道20号韮崎市域の交通状況、渋滞対策等について、情報共有・検討会を図ることとし、「韮崎市域交通対策検討会議」を設立致しました。

第1回韮崎市域交通対策検討会議

第1回韮崎市域交通対策検討会議

【開催日：令和7年1月31日（金）】

■出席者

- ・関東地方整備局 甲府河川国道事務所 副所長（道路） 北田
- ・山梨県 県土整備部 道路整備課長 保坂
- ・韮崎市 建設課長 谷（オブザーバー）
- ・関東地方整備局 甲府河川国道事務所 副所長（河川） 内藤
- ・山梨県 県土整備部 治水課長 山川

■議事概要

- ・韮崎市域の国道20号については、国や県による交差点改良などの局所対策、韮崎市による時差出勤などのソフト対策をすでに実施しているが、2車線のため、船山橋北詰交差点や一ツ谷交差点などを中心に慢性的な交通渋滞が著しく、交通事故も多発しており、県内において渋滞対策の優先順位が高い。
- ・韮崎市内の一部企業では、現在、事業の拡大を進めていると聞いており、今後も従業員の増加など市内の交通需要の増加が見込まれる。
- ・また、避難所にもなる新体育館を水害も考慮し七里岩の高台に建設しており、今後、国道20号の重要性がより高まる。
- ・現在の交通量や将来の需要を踏まえると、国道20号の峡北消防本部西交差点～一ツ谷交差点間の延長約2.6kmは、一部区間は歩道も未整備かつ、交通容量も不足しており、早期の抜本的な対策が必要なことから、防災・減災、地域活性化・まちづくりなど様々な視点から具体的な検討を進める。

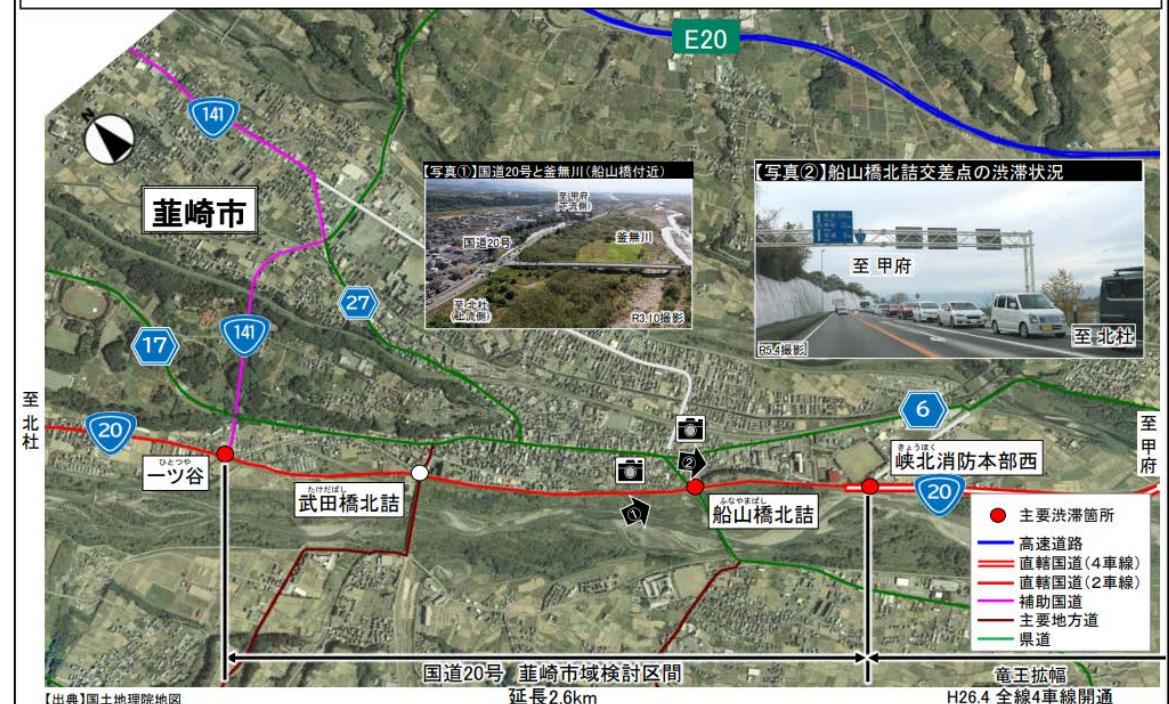
[第1回会議資料\[PDF: 11.6MB\]](#)



【出典】甲府河川国道事務所

韮崎市域交通対策検討会議

国道20号(峡北消防本部西～一ツ谷)延長2.6kmについて、情報共有及び渋滞対策の検討を行う。



【出典】甲府河川国道事務所